

まちづくりを通して共に学び 共学 共に育つ 共育

第3回

Chubu University

Kasugai City

中部大学 地域連携

市民フォーラム

2015

参加
無料

主催 中部大学
後援 春日井市

春日井市における 医療情報共有システムの開発

中部大学 工学部 電子情報工学科 准教授

保黒 政大

健康な食事～栄養バランス～

特定非営利活動法人 日本栄養改善学会 理事長
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授

木戸 康博 氏

開催
日時

平成27年

10月3日(土)

14:00～16:00(13:30 開場・受付)

開催
場所春日井市
東部市民センター ホール

春日井市中央台2-2-1 TEL.0568-92-8511

【交通のご案内】

- JR中央本線「高蔵寺」駅下車(名古屋駅より快速で約26分)
- 名鉄バス、高蔵寺駅北口のりばより
 - 「高森台」(約8分)下車、徒歩約4分
 - ▶4番のりば…かみや団地口、福祉の里、高森台北
 - ▶4番のりば…桃花台センター(春日台経由)
 - ▶5番のりば…石尾台南



中部大学



春日井市と連携し、大学の「人材」「技術」「知」を活用して、地域の活性化に取り組んでいます。

平成25年度、中部大学の「春日井市における世代間交流による地域活性化・学生共育事業」が、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択され、全学的に推進しています。この事業は、自治体、地域NPO、住民が大学のキャンパスの壁を越えて融合し、持続可能な新しい未来社会とその教育を春日井の地に実現することを目的にしています。そのために、この事業の内容・趣旨を地域の皆様にお知らせし、事業への協力と積極的、自主的関与を依頼する機会として市民フォーラムを開催する運びとなりました。

※大学COC(Center of Community)事業は、文部科学省が推進する「地(知)の拠点整備事業」で、国が地域の課題解決に取り組む大学を支援するものです。

第3回 中部大学 地域連携市民フォーラム／開催プログラム

13:30～ 開場・受付開始

**14:00～14:20 開会挨拶
来賓挨拶**

中部大学 学監／地域・国際連携教育研究センター長

松尾 直規
伊藤 太氏

14:20～15:10 講演①

春日井市における医療情報共有システムの開発

高齢化が進む我が国では、増加する介護費や医療費が問題となっています。その削減策の一例として、重複する検査・診察や投薬を減らしたり、医療機関ごとに保有している医療情報を必要に応じて伝達・共有したりすることです。

春日井市内で進めている医療情報共有のための試みについて紹介し、これらの医療情報の取り扱いについて考えます。



中部大学 工学部 電子情報工学科 准教授
保黒 政大

【講師プロフィール】

1993年：中部大学工学部電子工学科 卒業
1995年：中部大学大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程修了
同年：日本電気株式会社
2002年：株式会社ディー・ディー・エス
2009年：名古屋工業大学大学院 工学研究科 情報工学専攻
博士後期課程満了。博士(工学)
2010年：中部大学工学部電子情報工学科 准教授(現在に至る)

15:10～16:00 講演②

健康な食事～栄養バランス～

「健康な食事」とは、特定の栄養素や特定の成分を指すものでも、健康に良いとのうたい文句で出回っている特定の食品を指すものではありません。「健康な食事」は、人々の生活の営みやその環境にある食文化などによって成り立っています。「健康な食事」とは、健康な心身の維持・増進に必要とされる栄養バランスを基本とする食生活が、無理なく持続している状態を意味しています。「健康な食事」を実践するためには、地域の特性を生かし、食文化の良さを引き継ぐとともに、おいしさや楽しみがなくてはなりません。



特定非営利活動法人 日本栄養改善学会 理事長
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授
木戸 康博 氏

【講師プロフィール】

1979年：徳島大学医学部栄養学科 卒業
1981年：徳島大学大学院栄養学研究科修士課程 修了
(現在)
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授
特定非営利活動法人 日本栄養改善学会 理事長
公益社団法人 日本栄養士会 理事(学術研究事業部長)

◆主催／中部大学◆後援／春日井市◆

キャンパスを春日井のまちに広げ、講義で得た専門知識を使って、学生が地域の人と人とを結びつけるメディエーター(媒介者)となり、地域の様々な課題に主体性をもって取り組んでいきます。この中部大学式 人材育成体験プログラムを通じて、建学の精神「不言実行・あてになる人間」を身につけた学生には、本学独自の資格『地域創成メディエーター』を認定。

2015年度に「地域共生実践～春日井市問題発見のすすめ～」を講義として新設しました。

さらに、学生の成長を飛躍させる取り組みとして…

中部大学生がさまざまな形で関わる「地域との関わり体験プログラム」を導入しています。

① 報酬型インターンシップ

“報酬型”「給与を得る」+“インターンシップ”「就業&育成」
=人材育成を目的とした就業体験

③ シニア大学

中部大学アクティブアゲインカレッジ
(CAAC: Chubu University Active Again College)

高齢者のセカンドライフづくりに貢献

⑤ 生活・住環境を考えるまちづくり

地域の人々が安心して快適な生活を送るための研究を促進

② 高齢者・学生交流 Learning Homestay

高齢者宅に学生がホームステイすることで、
ニュータウンの高齢化問題を解決する新しい試み

④ キャンパスタウン化

大学とニュータウンが一体化し、広がる学びの場

⑥ コミュニティ情報ネットワーク

地域の人々の役に立つ情報ネットワークの構築を目指す

※「地域との関わり体験プログラム」など、詳しくはホームページ(下記アドレス)をご覧ください。

お問合せ

中部大学 地域連携教育研究推進部

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 TEL.0568-51-1763(直通) FAX.0568-51-4659

E-mail／coc@office.chubu.ac.jp HP／http://www3.chubu.ac.jp/coc/

開催当日のお問合せは…**090-1289-9755**まで。(この電話は開催当日以外は繋がりません。)

